

# 源流から辿る近代図書館

## —日本図書館史話

石山 洋 著 (元国立国会図書館司書監)

A5・270頁 定価(本体4,500円+税) ISBN978-4-8169-2521-4 2015年1月刊行

### 幕末から戦後まで 図書館に貢献した先覚者たちを紹介

- 日本の近代図書館の源流として4つの流れ——「博物館からの流れ」「米国公図書館の無料制からの流れ」「都市型公共施設からの流れ」「新聞縦覧所や地方の読書施設の発展からの流れ」——を提示し、時代に沿って並列的に記述することにより、公共・大学図書館の歴史を辿ります。
- 図書館近代化の中でエポックとなった図書館・図書館員の苦闘の歴史も紹介しています。
- 公共図書館だけでなく大学図書館の発展史も含め、図書館史全体を深くとらえることができます。

【著者プロフィール】 石山 洋 いしやま・ひろし

1927年生まれ。東京大学理学部卒。国立国会図書館奉職。図書館・情報学に留まらず、科学史、地理学、博物学までも専門とする。同図書館研究所長を経て、東海大学教授、公益社団法人東京地学協会日本地学史委員長等を歴任。  
著書に『科学史研究入門』『日本の近代化をになった外国人』『目録作成の技法』(共著)など。ほか論文多数。

### 【目次】

#### 第1章 戦前の公共図書館

日本版大英博物館の創設者——町田久成／市川清流が書籍院建設を建白／田中不二麻呂が東京書籍館を設立／博覧会、博物館そして図書館の時代／新聞縦覧所の行方／明治前期の地方読書施設を旧南部藩地域に検証する／湯島聖堂から上野の山へ／手島精一と東京図書館／京都府集書院の顛末／帝国図書館と田中稲城／日本図書館協会が日本文庫協会として創立／わが国最初の図書館学書 西村竹間編『図書館管理法』／関西文庫協会の創立と日本文庫協会への影響／半月湯浅吉郎と図書館／大橋図書館・成田図書館・南葵文庫の設立／『図書館雑誌』刊行に執心した和田万吉／公共図書館の父・佐野友三郎／帝国図書館開館式と全国図書館員大会の開催／東京市立日比谷図書館の創立と今沢慈海／図書館協会総裁徳川頼倫侯爵／生涯四度図書館を創った男——伊東平蔵／太田為三郎と和田万吉／函館図書館長岡田健蔵／外野から叱咤激励した図書館用品店主関宮不雄／初代文部省社会教育課長乗杉嘉寿と二代目帝国図書館長松本喜一／中央図書館制と読書運動／満鉄における調査参考図書館／江戸以来の貸本屋から児童図書館へ／図書館における児童サービスの歩み

#### 第2章 戦後の公共図書館

戦後の図書館界の再建／占領軍図書館担当官キーニーの登場／金曜会と図書館改革／国立国会図書館の創立／図書館法の成立／「図書館の自由宣言」採択／新しい図書館運動／有山市長と日野市立図書館の設立／日比谷図書館の再建に奮闘した土岐善麿館長／東京都図書館振興策のなかの杉捷夫／私立南多摩農村図書館襲浪江虔の貢献／「中小レポート」を纏めた清水正三／村上 造と富山県の図書館／近畿地方における公共図書館の発達／望ましい基準(案)の展開／戦後における児童サービスの発展

#### 第3章 大学の図書館

近代大学図書館の源流／『蕃書調所書籍目録写』と『御書籍目録』『蛮書類』／書房と呼ばれた大学図書館—工学寮・工部大学校の図書館—／東京開成学校校内に設置した東京書籍館法律書庫のこと／慶応義塾図書館の源流／早稲田大学図書館の源流／東洋大学図書館の源流／大学図書館の連体組織

2016.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注  
文  
書

源流から辿る近代図書館  
—日本図書館史話

定価(本体4,500円+税) ISBN978-4-8169-2521-4

冊



9784816925214